

# 平成 29 年度 事業計画

自 平成 29 年 4 月 1 日  
至 平成 30 年 3 月 31 日

## 平成 29 年度 事業計画

自 平成 29 年 4 月 1 日

至 平成 30 年 3 月 31 日

### 基本方針

世界経済は米国新政権の政策による各国の対応影響の違いなど不透明感はあるものの、全体として緩やかに回復していくものと見込まれます。我が国経済も東京オリンピック・パラリンピックに向けた整備とインバウンド需要、そして設備投資や個人消費の活性化を促す政策の効果により、景気回復が本格化していくと期待されます。

ディスプレイ業界も需要の回復を期待いたしますが、市場は大きく様変わりしつつあり「モノからコト」「場造りから演出」「共感から体験」「画一から多様性」へと重要視する「価値の様変わり」が本格化してきました。従来に固執したやりかたでは顧客や消費者の真の需要に応えられなくなってきました。しかし、脅威ではありますがチャンスと捉えることもできます。わが業界は長い歴史の中で幾度もわが身の業容を変えて社会の変化に応じてきました。個々それぞれが変革を厭わず、創造性と技術を駆使して乗り越え、つなげてくれました。我々も先達になります。

連合会は、引き続き会員構成員の増強を推進して仲間を増やし、会員間、周辺業界との交流を盛んにして連携と協働の機会を増やします。経常行事もいっそう盛んに催して認知度の向上をはかってまいります。翌年に創立 50 周年の大きな節目を控えて、更なる飛躍を準備する一年と位置づけ、業界全体の成長と発展を目指します。

## 重点施策

1. ディスプレイを通じて生活文化の向上及び国土景観の発揚に寄与する事業
  - ディスプレイに関する表彰
  - ディスプレイに関する調査研究及び基準の作成
  - ディスプレイに関する資格認定
  
2. ディスプレイを通じて地域の活性化に寄与する事業
  - 各地におけるディスプレイに関する展示・デザイン展の実施協力
  - 地域活性化促進事業
  
3. ディスプレイを通じた産業の国際化に寄与する事業
  - 海外諸団体との交流及び事業への協力
  
4. 図書等の販売斡旋及び保険制度の斡旋等の事業
  - 専門図書の発刊、斡旋
  - 損害保険の斡旋
  
5. 組織強化に資する事業
  - 会員相互の交流
    - ・全国大会の実施
    - ・全国青年交流会の実施
    - ・全国事務局会の開催
  - 広報事業
    - ・機関誌「ND」の刊行
    - ・ホームページの情報発信
    - ・日本経済新聞社主催の JAPAN SHOP 協賛
  - 会員・構成員の増強
  
6. その他
  - (一社) 日本屋外広告業団体連合会、(公社) 日本サイン協会、
  - (公社) 日本サインデザイン協会の催事参加と情報交換会の実施
  - (一社) 日本展示協会、(一社) 日本イベント産業振興協会、
  - (一社) 日本イベントプロデュース協会
  - (一社) LED光源普及開発機構の催事参加と交流

## 実施要綱

### ディスプレイ振興委員会

ディスプレイ産業賞贈賞事業の実施

- ・審査料、贈賞式典パーティー参加費を徴収する。
- ・賛助会員をスポンサーとして副賞賞金を設ける。
- ・受賞作品を収めた「年鑑」を発刊して受賞者に授与する。
- ・その他適正円滑な運営に必要な手段を講ずる。

ディスプレイ振興に資するセミナーの実施

- ・首都圏以外の地域で開催する

### 教育研修委員会

職長・統括安全衛生責任者教育の実施

足場組立て等特別教育の実施

コンプライアンス・セミナーの実施

### 広報委員会

ND の発刊

賛助会員の広告推進

周年記念書籍の編集推進（平成 30 年度発刊）

### 総務・財務委員会

予算・収支の定期監査実施

周年記念行事にて永年貢献者表彰の実施準備

### 国際委員会

AFECA 年次行事への参加と報告

海外研修旅行の計画と実施

### 会員・構成員増強委員会

増員計画の策定と実施

賛助会員の増員と交流会の実施

### 交流委員会

全国大会の監修と支援

全国青年交流会の監修と支援